

野生鳥獣に食べ物を与えないで！

そのやさしさが、人にも動物にも危険を招くことがあります

野生鳥獣が人の食べ物に慣れると、住宅地へ繰り返し近づき、農作物被害やごみ荒らし、交通事故、人身被害につながるおそれがあります。



みんなで守る4つのお願い



1 食べ物を与えない

かわいそうに見えても、餌付けは野生鳥獣が自然の中で生きる力を弱め、人への警戒心を失わせる原因になります。また、人の食べる物は動物にとって健康を損なう原因となる場合もあります。

2 ごみや食べ物を屋外に放置しない

生ごみ、ペットフード、収穫後の野菜や果実も、野生鳥獣を呼び寄せる餌になります。決められた日の朝8時までにごみ回収場所に出しましょう。

3 見つけても近づかず、静かに離れる

写真撮影や観察のために追いかけたり、近づいたりしないでください。野生鳥獣との適切な距離を保ちましょう。

4 近くによらない、触らない

野生鳥獣には触らないでください。キツネは、肝機能障害等を引き起こす恐れのある「エキノコックス症」の原因となる寄生虫を保有している場合があります。また、犬もエキノコックスの宿主となる可能性もあります。

人と野生鳥獣が適切な距離を保ち、安心して暮らせるまちにするため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ 当別町 住民環境部 環境生活課 環境対策係 電話 0133-23-2503